

件名：

【中部防災推進ネットワーク】メールマガジン Vol.4

本文：

2020年12月18日

■+■-----
+■┘ 中部防災推進ネットワーク メールマガジン Vol.4
■┘-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、メールマガジン（2020年12月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合等の発表資料はホームページに掲載しています。また、チラシのPDFを掲載していますので、適宜ご活用ください。

（チラシの画像をクリックしていただくと、PDFがダウンロードできます）

【中部防災推進ネットワーク ホームページ】

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html>

1. 本ネットワークの参画団体のご紹介

（1）名古屋林業土木協会

当協会の上部組織は、日本林業土木連合協会で、全国の林業土木に携わる会員の技術の向上、経営基盤の強化等に関する事業を行い、もって国土の保全及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与することを目的として活動している団体です。

名古屋協会は、富山・岐阜・愛知の3県に所在する会員59社が加入し、名古屋市熱田区に協会事務所があります。

近年、地球温暖化の影響等による記録的な豪雨により

山地災害が頻発しておりその度に全国各地で激甚な山地災害が発生しています。協会員の多くは山村地域に所在し、災害が発生した場合は「地域の守り手」として、真っ先に災害現地へ入り、被災状況の把握や、応急復旧など、地域住民の安全・安心な暮らしを守るべく迅速な対応を行っています。

また、当協会は「フォレスト・サポーターズ」に登録し「美しい森林づくり推進国民運動」の一環として森づくりなどの社会貢献活動にも取り組んでいます。

<日本林業土木連合協会 URL>

<http://rindoren.or.jp/index.html>

(2) 日本ガス協会

日本ガス協会は、都市ガス事業の健全な発達を図るとともに、天然ガスの普及拡大、エネルギーの安定供給と保安の確保、環境問題への対応を通じて社会的貢献を果たすことを目的とする、都市ガス事業者（197 事業者（2020 年 11 月現在））の団体です。

都市ガス事業は、主に都市部に広く敷設された導管によりガスを供給する事業です。導管網の規模の経済性を活かして効率的にガスを供給することを特徴としているため、都市ガス事業者は、各地域の都市部を中心に全国に遍在します。

都市ガスの主な原料として使われる天然ガスは、今後の地球温暖化対策の推進にあたり必要不可欠なエネルギーとして、世界的に注目が高まっています。私どもはエネルギー業界内外の情報を広く的確に捉え、都市ガス事業者としての総合力を発揮し、お客さまへの最適なエネルギーサービスを行うことにより、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

<日本ガス協会 URL>

<https://www.gas.or.jp/>

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

(1) 助け合いジャパンからのお知らせ

○イベント名

みんなが元気になるトイレ (新潟県見附市クラウドファンディング)

○開催期間

開催中 (2021年1月14日(木) 23:00まで)

○開催概要

いま日本には緊急時のトイレが圧倒的に不足しています。しかし、全住民が必要な分のトイレを各自治体が備えておくことは、経済的にも物理的にも現実的ではありません。「みんな元気になるトイレ」は、全国の1,741市区町村が1台ずつトイレトレーラーを常備し、自然災害が起きた地域にすぐに駆けつけることでトイレ不足を大きく軽減するプロジェクトです。

<Web ページ URL>

<https://readyfor.jp/projects/mintore-mitsuke>

(2) 名古屋大学からのお知らせ

○イベント名

第30回特別企画展「東日本大震災から10年～必ずやってくる南海トラフ地震にどう備えるか」展示室 (※バーチャル開催)

○開催期間

2020年12月7日(月)～2021年3月25日(木)

○開催概要

2011(平成23年)年3月に発生した東日本大震災から10年の節目を迎えようとしています。一方、前回の南海トラフ地震から75年余が経過し、次の地震へのカウントダウンは確実に進んでいます。東日本大震災は、東海地域に住む私たちに、南海トラフ地震に対する十分な備えを行うための猶予期間を与えてくれたと考えること

もできます。本企画展では、東日本大震災を振り返り、迫りくる南海トラフ地震への備えについて考えるとともに、これまでの減災センターの取り組み・これからの役割について再確認します。

○内容

- ・センター構成員によるエッセイ集「それぞれの 3.11 その日から私は」
- ・展示パネル
- ・バーチャルスペシャルギャラリートーク

<Web ページ URL>

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=16386>

(3) 事業継続推進機構 BCAO からののお知らせ

○イベント名

2020 年度 第 2 回普及啓発セミナー（サプライチェーン）

2020 年度 第 3 回普及啓発セミナー（新型コロナウイルス感染症）

○開催日時

第 2 回 : 2021 年 1 月 14 日（木）13:30～15:50

第 3 回 : 2021 年 1 月 28 日（木）13:30～15:50

○開催場所

各受講者端末前(テレビ会議システム「Zoom」を活用)

<申込ページ URL>

<http://www.bcao.org/seminar/92.html>

※今後掲載される予定

(4) 岐阜県からののお知らせ

○イベント名

ぼうさいキャラバン

○開催期間

2021 年 1 月 8 日（金）～1 月 14 日（木）

○開催場所

ルビットタウン高山 1 階エレベーター横

○開催概要

風水害や地震への日頃の備えや、災害時の避難をメインテーマとした巡回防災パネル展

(5) あいち・なごや強靱化共創センターからのお知らせ
2020年11月15日に開催した防災人材交流シンポジウム【つなぎ舎】の動画を公開しておりますので、是非ご覧ください。

○動画名

「防災人材交流シンポジウム【つなぎ舎】～3. 11を未来へつなぐ～」

○概要

2021年3月で東日本大震災から10年の節目となることを契機とし、東北と愛知の防災の担い手が一堂に会し、過去の災害経験をつなぎ、南海トラフ地震などの未来の災害に備えるために開催した、防災人材交流シンポジウム【つなぎ舎】の当日の様子をご覧ください。

<動画視聴ページ URL>

https://www.kyoso-seminar.com/news/news_k.php?id=2&open=1

3. 編集後記（事務局のひとこと）

中部防災推進ネットワークの事務局メンバーを務めております、中部経済産業局の■■■■と申します。

当局は全国8箇所に設置されている経済産業省の地方支部分局の一つであり、中部5県（愛知、岐阜、三重、富山、石川）を管轄しています。

近年頻発する災害に対し、経済産業省としては、電気、ガスといったライフライン施設や、石油コンビナートなど産業保安関連施設に関する情報収集・提供、事業者への応急対策の指示を行うとともに、関係業界団体等を通じた、避難所生活関連物資の調達や燃料の供給、被災地

における物資等の安定供給等のための支援を行っております。

特に発災直後においては携帯トイレ・簡易トイレ、トイレトイレットペーパー、毛布等の生活必需物資について関係省庁と連携しプッシュ型で支援を行っています。

また、復興段階においては、「なりわい再建補助金」等の各種施策により、被災された事業者の皆様の復旧・復興を支援しています。

当局としても、こうした経済産業省本省の動きに合わせ、被災地における物資の安定供給や産業被害の把握のための現地支援要員の派遣等に努めてきたところです。

幸いにして当地域では大規模な災害は暫く発生しておりませんが、南海トラフ地震をはじめとして、いつ何が起きてもおかしくはない状況にあります。

本ネットワークを通じ、有事に備え、各業界団体の皆様との広域的な連携の実現のため、事務局として最大限取り組んでまいりますので、皆様何卒よろしくお願いいたします。

